

技術者への基礎部分の構築につながる研修となりました。

*訓練前の状況を教えてください。

これまで、新入社員として入社した者への技術研修等が実施出来ていませんでした。従業員は配属後にOJTで業務を学んでいくことになりましたが、担当業務に関するスキルは身に付くものの、ベースとなる製造メーカーとしての基礎的な要素を身に着ける機会がなく、品質とは、品質管理とは、品質手法(QC7つ道具、多変量解析、実験計画法など)を身に着ける機会として訓練を利用しました。

*訓練を利用した感想、および受講者や職場の変化はありましたか。

対象者が新入社員を含めた若手がメインなので、新たな



知識をつけられた点では生産性向上の基礎となったと思います。

また、日頃の業務に時間にとられて製造の基礎となる考えや、ツールの活用などの説明が疎かになっていました

が、QC7つ道具をベースに、技術者への基礎部分の構築につながる研修となりました。

今後も品質管理の基本や時間管理の研修は新入社員向けに継続して実施していきたいです。

受講者の声

- ・品質手法を理解したことにより、これまで分析するのに時間を要していた作業を短縮することが出来ました。
- ・量産プロセスのトラブルについて、トラブルの解析に役立てられそうだと思いました。
- ・QC7つ道具を実践を交えながら研修でき、自社全体・個人含め、品質管理に対する知識が浸透していないことを実感しました。今後の業務にこれらの手法を取り入れて知識を深めていきたいです。
- ・普段の時間の使い方を改めて見直す機会としてもよかったし、どう改善すべきなのかも示されていたため、次へと活かせると感じました。

日本電産リード株式会社

事業内容

半導体パッケージ検査装置、プリント基板検査装置、検査用治具、光学式外観検査装置

会社概要

京都市右京区

設立 1991年 従業員数 270人

利用訓練コース

ものづくりの仕事のしくみと生産性向上(令和元年9月)

業務効率向上のための時間管理(令和元年10月)

品質管理基本(令和2年2月)